

施工取扱説明書

お客様へ

保存用

工事店様へ

【安全上のご注意】

注意

 接触禁止

 禁止

!
嚴守

照明器具の寿命は、使用条件、使用環境異なりますが、一般的な使用状態で8～10年が目安です。数年に1回は、専門家(工事店・電器店)による点検を実施していただき、不具合がありましたら適切な処置を施してください。→放置すると、火災・感電・故障の原因になります。

取説No. S501-966 KL/S・T-03

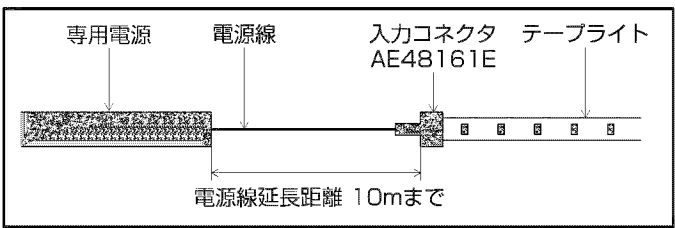
■定格

型 番	定格電圧	入力電流	消費電力	全長	使用ランプ	専用電源ユニット
AL91837L・AL91841L	DC24V	0.60A	※15.0W	3m	LED	AE48166E AE48167E AE48168E AE49265E
AL91838L・AL91842L		0.40A	※10.0W	2m		
AL91839L・AL91843L		0.20A	※ 5.0W	1m		
TL400300M・TL500300M		0.10A	※ 1.5W	0.3m		

※消費電力はDC24V時の値です。

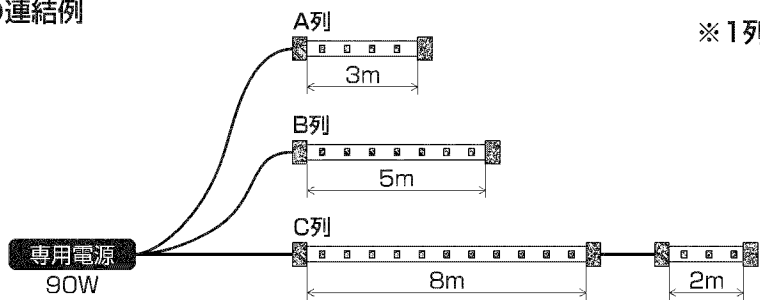
■電源との接続について

テープライトと電源との接続には必ず入力コネクタを使用してください。テープライトは並列接続が可能です。使用する電源仕様に従い、電気容量に注意して余裕をもった接続数にしてください。



※1列のテープライトの最大連結長さは10mとなります。

●連結例



A列：3m	15W
B列：5m	25W
C列：8m+2m (1列の最大長さ)	50W
合計 90W	

専用電源ユニット	最大出力電力	使用可能なモジュールの長さ	
		下限	上限
AE49265E	30W	0.3m	6m
AE48166E	60W	0.8m	12m
AE48167E	90W	1.3m	18m
AE48168E	150W	1.8m	30m

※1列あたりの最大連結長さは10mです。
※テープライト100mmあたりの消費電力は0.5Wです。

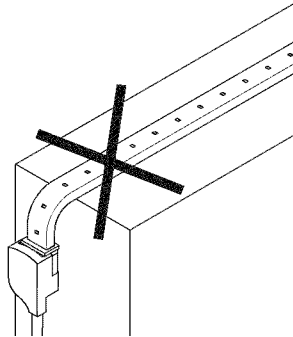
■施工前の確認

1 器具重量に耐えられるよう、取付部の強度を確保する

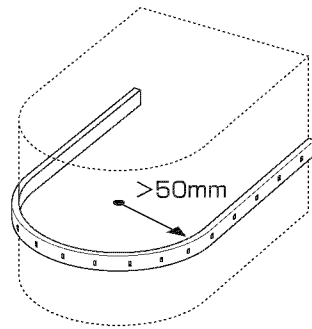
2 設置場所を確認する

- 下図のような場所、状態で取付けない。
故障・損傷の原因になります。

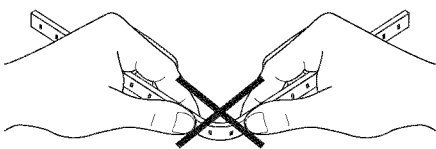
直角に曲げて取付けないでください。



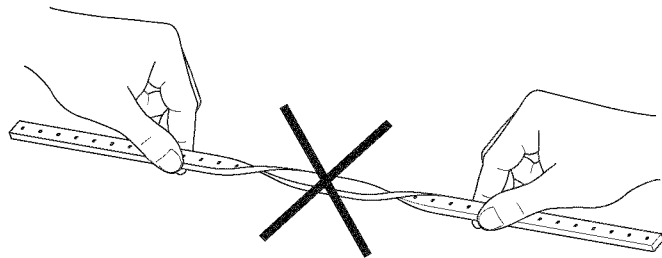
最小曲げ半径が50mm未満で取付けないでください。



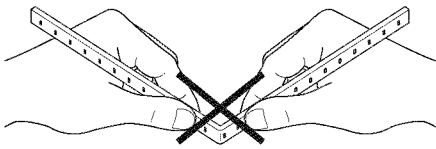
急な角度で曲げないでください。



ねじらないでください。



折らないでください。



3 取付面が十分乾燥していることを確認する

器具や取付面の変色の原因になります。

4 メタルラス張り、ワイヤラス張り、金属板張りの造営物に取付ける場合

器具の金属部分と電氣的に接続しないように施工する。

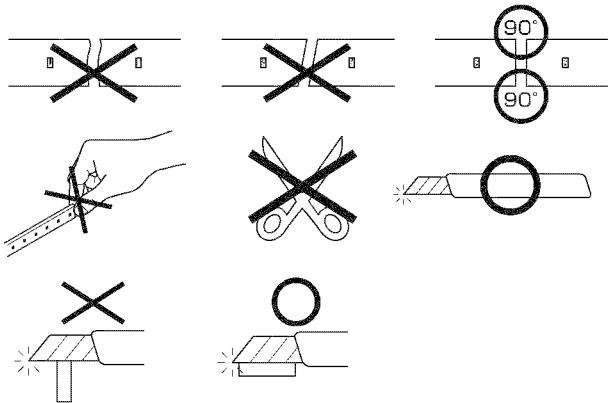
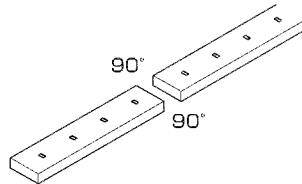
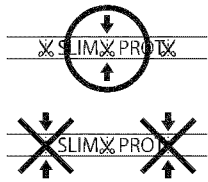
5 テープライトを切断する場合

テープライトの側面にあるはさみマークの中央部分をカッターで90度にまっすぐ切断する。

※切断時にLED部分を押さえないでください。故障の原因になります。

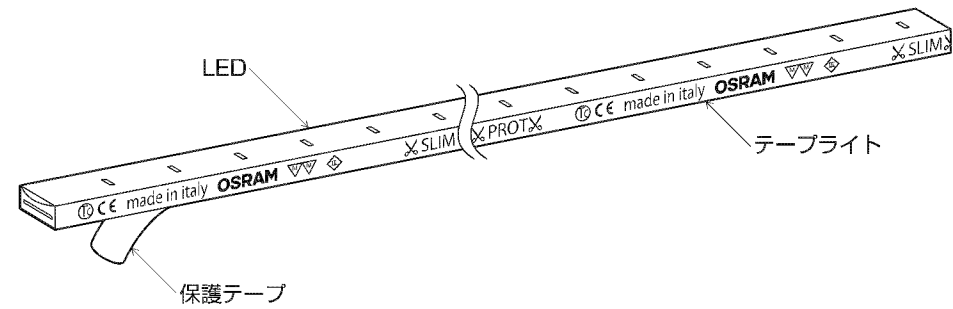
※切断時にはさみを使用しないでください。

※テープライトを立てて切断しないでください。

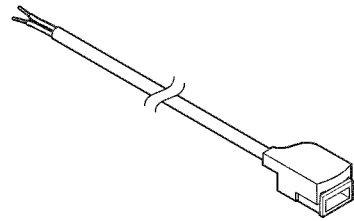


■施工手順 △注意 取付けの際は必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

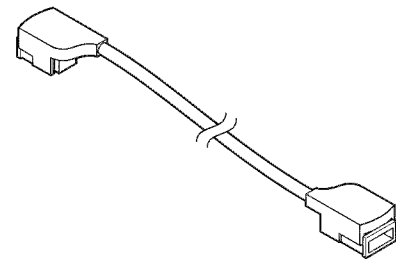
※この図は一部抽象化した共通部品図です。
※部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けないでください。



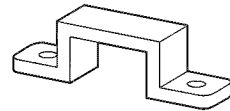
<入力コネクタ(別売)>
AE48161E



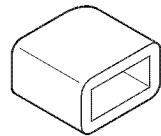
<接続コネクタ(別売)>
AE48162E



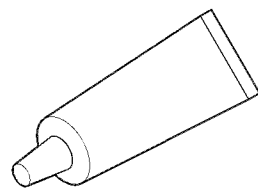
<固定クリップ(別売)>
AE48163E(5個入)



<エンドキャップ(別売)>
AE49782E



<接着剤(別売)>
AE49783E

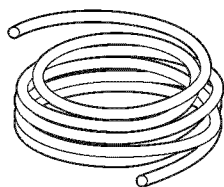


<専用電源ユニット(別売)>

AE48166E
AE48167E
AE48168E
AE49265E

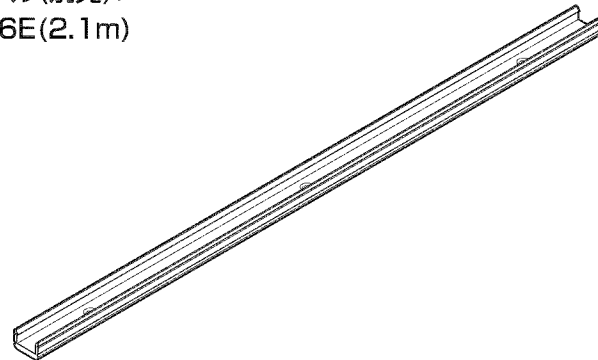


<延長ケーブル(別売)>
AE49775E



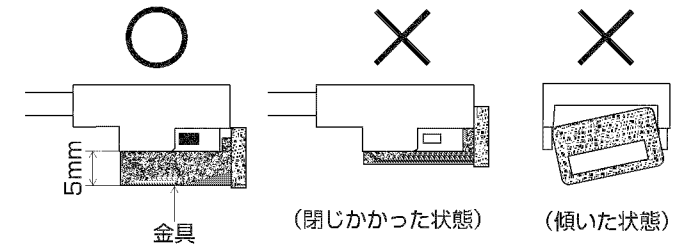
VCT1.25×2芯 10m

<アルミレール(別売)>
AE49776E(2.1m)



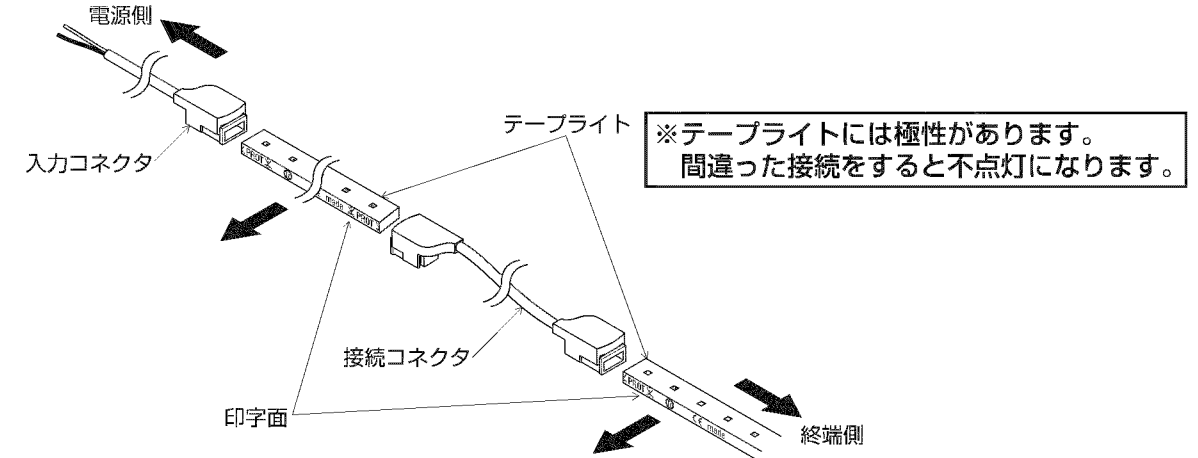
1 コネクタ(別売)を接続する前の確認

①コネクタの金具が開いていることを確認する。



②テーブライトの接続方向を確認する。

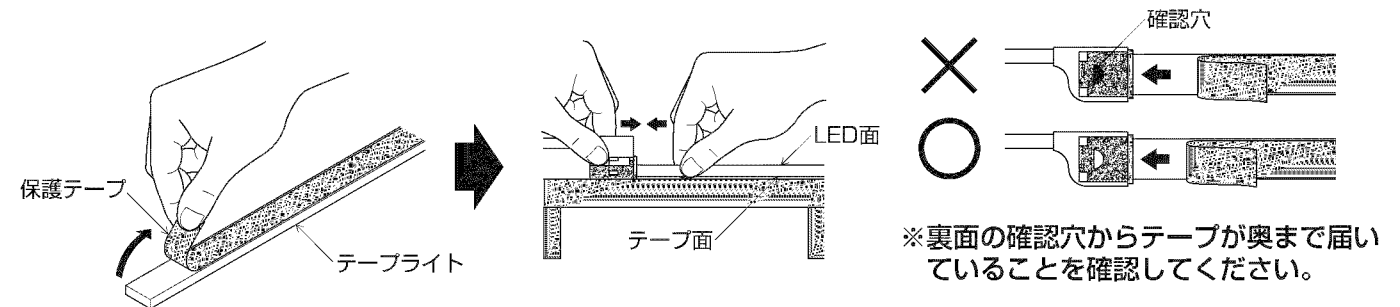
※印字面の方向に注意し、下図のように接続してください。



2 コネクタ(別売)と接続する

①接続する側の保護テープを少し剥がす。
②コネクタの奥までまっすぐに差し込む。

※強く押し込み過ぎると金具がはずれます。はずれた場合は再セットしてください。



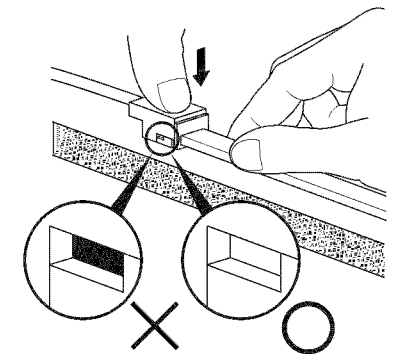
③コネクタの金具を下にして平らな所に置き、テーブライトが動かないようにはさみながらコネクタの上部を“カチッ”と音がするまで強く押し込む。

※ゆっくり押した場合、音が鳴らない場合もあります。

※一度使用したコネクタは、再利用しないでください。

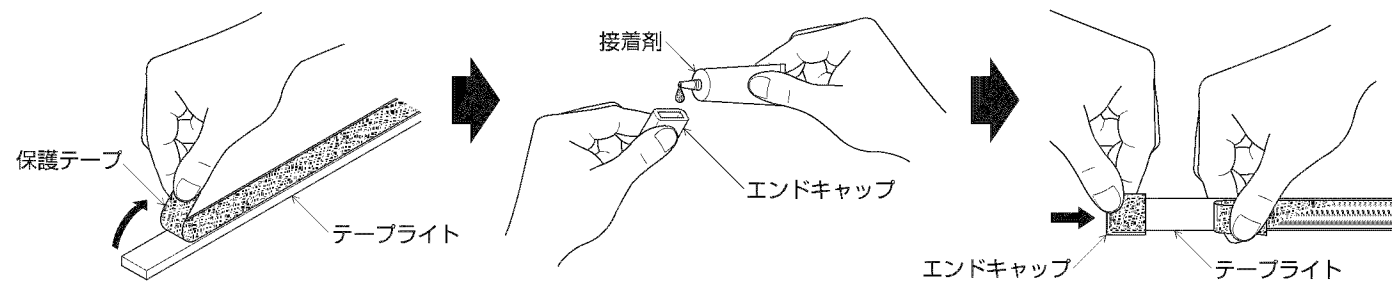
④軽く引っ張って抜けないことを確認する。

△警告 コネクタの接続を確実に行ってください。
接続が不完全な場合や再利用した場合は火災・感電の原因になります。



3 エンドキャップ(別売)を取付ける

- ① テーブライトの終端側の保護テープを少し剥がす。
- ② エンドキャップに接着剤(別売)を流し込み、テーブライトの終端側を奥まで確実に差し込む。



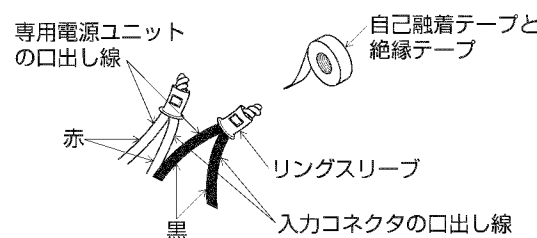
4 電源を接続する

入力コネクタの口出し線と専用電源ユニット(別売)の口出し線の極性を合わせ接続し、絶縁テープなどにより確実に防水および絶縁処理を行なう。

※電源の出力線からテーブライトの入力までを延長する場合は、1.25mm²以上のケーブルで10m以内にしてください。

※コネクタや接続線に負荷をかけないように接続してください。

⚠ 警告 電源の接続および絶縁を確実にこなってください。
接続が不完全な場合は火災・感電の原因になります。



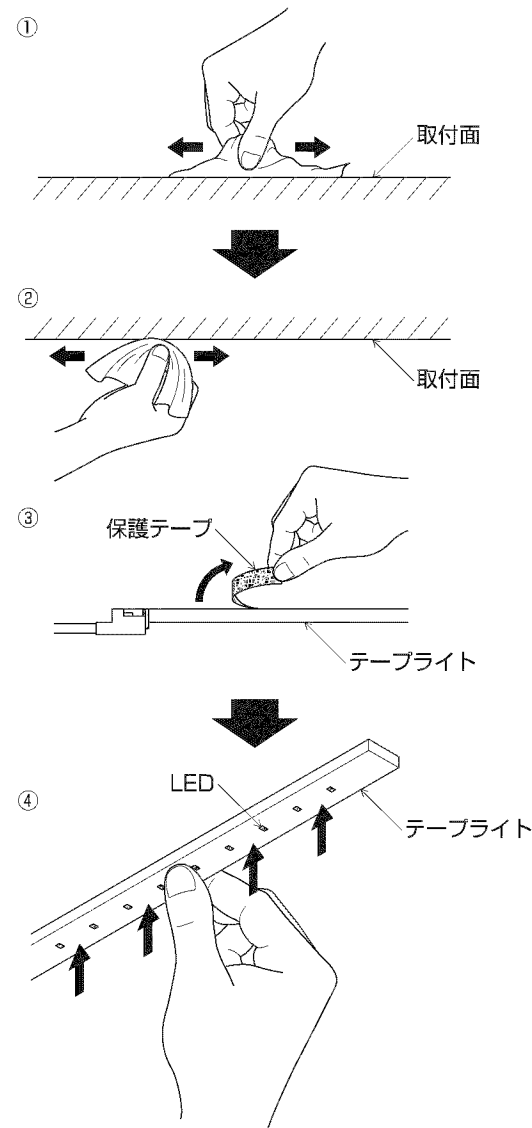
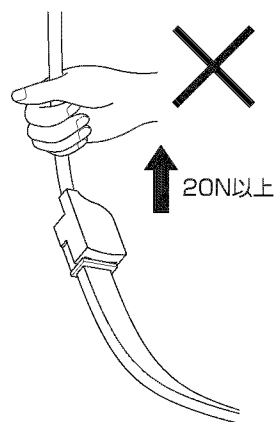
5 テーブライトを取付ける

＜造作物に直接取付ける場合＞

- ① 取付面を清浄する。
- ② ③ 取付面を乾燥状態にし、テーブライトの保護テープを剥がす。
- ④ ロールャーなどを使用せず、テーブライトのLEDの無い箇所を手で押して取付ける。

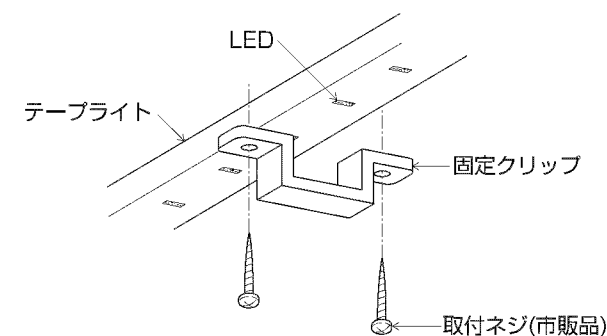
※両面テープは、仮止めです。下向きに取付ける場合は、固定クリップをご使用ください。

⚠ 警告 貼り直す場合はテーブライトやコネクタを強く引っ張らないでください。
断線による火災・感電の原因になります。



＜固定クリップ(別売)を取付ける場合＞
固定クリップをテーブライトのLEDの無い箇所に合わせ、取付ネジ(市販品)で取付ける。

※固定クリップは30cm間隔で使用してください。
※取付ネジは締め付けすぎないように注意してください。



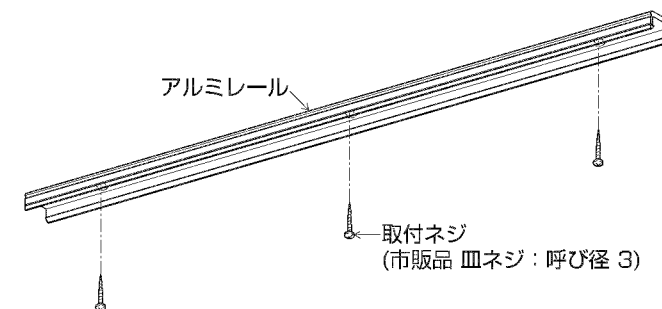
＜アルミレール(別売)を使う場合＞

(施工時の直線性を容易にします。)

- ① 必要な長さにカットして取付ネジ(市販品)で固定する。
- ② 端から徐々に保護テープを剥がしながらアルミレールにはめ込む。

※一度接着した後に剥がし、再接着しないでください。断線の原因になります。

※固定クリップ(別売)は不要です。



6 点灯の確認を行なう

⚠ 器具の取外しは工事店・電器店に依頼してください。→感電の原因になります。

■使用上のご注意

- 器具の近くでリモコン(コントローラ)を操作した場合、誤動作することがあります。
器具とコントローラ受信部を離してご使用ください。
- 器具の近くや電波状況の弱い場所では音響製品に雑音が入る場合があります。
器具と音響製品を離してご使用ください。
- 調光器(別売)と組み合わせて使用する際は、必ず当社指定の調光器(別売)をご使用ください。チラツキ・誤作動の原因になります。
- ホタルスイッチなど、電源OFF時に表示が点灯するタイプのスイッチを使用する場合、壁スイッチの使用は4個までとしてください。壁スイッチを5個以上使用される場合は、ホタルスイッチタイプ以外のスイッチを使用してください。

■LEDユニットについて

- 明るさが70%になるまで平均約40000時間です。
- LEDのみの交換はできません。
- LEDは輝度が高いため、直視しないでください。
- LEDにはバラツキがあるため、同一型番でも発光色、明るさが異なる場合があります。ご了承ください。
- 電源ON時にスイッチが点灯する表示付スイッチに使うと、表示が暗くなったり点灯しないことがあります。

■器具のお手入れ ⚠ 注意 器具のお手入れの際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

- 明るく安全に使用していただくために6ヶ月に1回程度の清掃・点検をしてください。
- 器具の汚れは乾いた柔らかい布が薄めた中性洗剤を浸透させた柔らかい布をよく絞ってから拭き取ってください。シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。また、薄めた中性洗剤を使用した場合は、洗剤が残らないよう、よく拭き取ってください。変質・故障の原因になります。